

潮風をあびながら・・・

10km 漁火ナイトウォーク開催

この日は好天に恵まれ、総勢32名が夕日の美しい浦富海岸沿いを歩きました。折り返し地点の田後地区コミュニティセンターではスイカを食べて心地つき、今度は昇ったばかりのまん丸のお月様に見守られながら中央公民館まで歩きました。およそ10キロの行程を歩きとおした参加者は心地よい疲労感と達成感に包まれ、すがすがしい笑顔を見せていました。



夕日の浦富海岸沿いもまた美しい

7月19日(土)、中央公民館から田後地区コミュニティセンターまでを往復する漁火ナイトウォークが行われました。これは、家族・親子のコミュニケーションを図るとともに健康増進を目的として、毎年、町青少年育成協議会を中心として行われているものです。



『教育の町 岩美』へ最高の贈物～三洋エナジー鳥取労働組合よりビデオプロジェクター 寄贈

7月16日(水)三洋エナジー鳥取労働組合より岩美中学校へビデオプロジェクターを寄贈していただきました。当日は役場庁議室にて同組合執行委員長河村正之さんより岩美中学校生徒会長3年宮本直哉君へ手渡されました。寄贈していただいたビデオプロジェクターは、早速パソコンを使用した授業に活用させていただきます。と戸田校長。『教育の町 岩美』に大変役立つ贈り物です。誠にありがとうございました。



おやじパワーで地域おこし 岩井をこよなく愛する岩井ゆかむり協力隊 ランド・アート作成



岩井ゆかむり協力隊のメンバー(一部)と大久保英治さんと大久保さんのご家族

この夏は岩井温泉でさっぱりした後、光に包まれた岩井温泉街を歩いてみませんか。

この夏は岩井温泉でさっぱりした後、光に包まれた岩井温泉街を歩いてみませんか。

おやじの心がひとつとなり、暑さを吹き飛ばすかのよう元気な活動しています。汗を流した後、みんなが飲むのも楽しみひとつ。

ランド・アートは最後に因州和紙(青谷の和紙)が貼り付けられ、8月16日灯籠流し前後一週間ライトアップされる予定。(点灯式は8月9日)写真のドーム型の作品は、天と地をつなぐことをテーマとし、天井に穴を開けているので、中から星が見えるロマンチックな仕上がりが期待できそうです。また、水辺公園だけでなく、岩井温泉街全体にいろいろな形のランド・アートを作成する予定なので、岩井温泉街の夜はほのかな光の街となることでしょう。

今、岩井のおやじ達はとても生き生きとしています。岩井をこよなく愛する定年退職をした60代、70代を中心に活動している約15名の有志「岩井ゆかむり協力隊」が、水辺公園(岩井グランドゴルフ場隣)でランド・アート(岩や木などの自然素材を用いて作成する美術作品)作成を行っています。これは、毎年8月16日に行われる灯籠流しとともに、ライトアップされたランド・アートを岩井温泉街に置くという「光」をテーマとした2009鳥取・因幡の祭典ブレイベントの一つで、地域おこしをしようとするものです。

世界各国で活躍されているランド・アート作家大久保英治さん指導のもと、すべて岩井で採れた竹や木を使い作成しています。「いろいろな形の竹があってこれをすり合わせてひとつの作品にしていくように、この活動を通じて人間関係においても妥協ではなく、すり合わせを行うことができます。このことが地域活性につながる。」と大久保さんは語っていました。「地域がとにかく大好きで盛り上げたい」ただそれだけの気持ちで



指導する大久保英治さん(右)



皆さん本当生き生きしています